

尾瀬学習プログラム

— 学習活動編 —

本編の内容

1 「尾瀬学校」の環境学習を進めるための学習計画例

2 課題追究の活動例

3 外部機関との連携・活用

4 ガイドとの連携Q&A

5 雨の日の対応Q&A

6 尾瀬学校実施に係る注意事項

- (1) トランシーバーの活用について
- (2) 緊急時の連絡について
- (3) トイレチップについて
- (4) 子どもたちへの配布資料について



本プログラムは尾瀬学校に対して寄せられた「各学校に共通して提示できるような課題例や説明事項を行政サイドから発信してほしい」という要望に応えるものです。

上記1～5は、平成21年度群馬県総合教育センター長期研修員による「『尾瀬学校』を生かした環境教育の推進を図るための調査研究報告書」（「尾瀬KAN」）を抜粋したものです。

「調査研究報告書」の全容は、総合教育センターのWebページに掲載されておりますので、そちらをご覧ください。（本文では、参照する「報告書」のページを示しており、ワークシート等はダウンロードもできます。）

なお、本編6は、特に注意していただきたい項目について説明したものですので、尾瀬学校実施の前にご確認ください。



群馬県自然環境課尾瀬保全推進室
群馬県教育委員会

1 「尾瀬学校」の環境学習を進めるための学習計画例

「事前」・「尾瀬当日」・「事後」の3つの学習に視点を当て、「尾瀬学校」の環境学習を進めるための学習計画（総合的な学習の時間での実施）例を示します。

「調査研究報告書」には、A、B、Cの3つの計画例が掲載されていますが、ここでは、基本となる学習計画Aを紹介します。

なお、この計画の中で「報告書」と示してあるページは、「調査研究報告書」本体のページです。

学習計画A 「尾瀬からはじまる環境学習」(総合的な学習の時間)

*全25時間～尾瀬当日の学習時間は含みません

「事前学習」では、尾瀬の自然や環境対策など、尾瀬への関心を高める学習に重きをおきましょう！

過程	主な活動	時間	支援及び留意点
課題の設定	1 「尾瀬を知ろう」 ○尾瀬について知っていることをあげる。 ○尾瀬のビデオ等を見て、尾瀬の概要を知る。 ○尾瀬のプロフィールについて考える。 ○尾瀬についての情報を収集する。	1 2 3	○尾瀬の概要を視覚的にとらえさせるために、ビデオ等を視聴する。 ○尾瀬への関心を高めるため、ワークシートを用いる。 ○ガイドブックやインターネットなどでポイントを絞って調べさせる。
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white;"> ★ワークシート①【尾瀬について調べよう】 (報告書P. 36～)を使用し、尾瀬について知ろう。また、課題設定のヒントを得よう。 </div>		
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #e6f2ff;"> <p style="text-align: center;">【外部機関との連携・活用ポイント】</p> <p style="text-align: center;">「県立自然史博物館」・「尾瀬高校」・「エコムーブ号」・「企業（東京電力）」を活用することで、尾瀬についての詳しい情報とともに環境教育と結び付く課題設定のためのヒントを得ることができます。 P. 8～ (報告書P. 17～)</p> </div>		
	○尾瀬で見たいもの、調べたいことを発表し、それぞれの班を作る。	4	○班で一つのテーマに絞れるように、助言を与える。(班編制は各学校の実態による)
	○各班(個人)で調べたいテーマを決める。	5	
<div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; background-color: #4b4b9b; color: white;"> <p>★テーマ(課題)設定の例として、以下の項目を参考にしよう！</p> <p>この段階では、細かなテーマは設定せず、尾瀬で見たいものの調べ学習程度のテーマとしよう！</p> <p>*ワークシート①の問題(報告書 小学校P. 37～、中学校P. 40～)から課題設定につなげましょう。【植物や生き物はさらに細分化できます。】</p> <p>①植 物 ②生き物 ③池 塘 ④拋水林 ⑤ブルテ ⑥ケルミとシュレンケ ⑦木 道 ⑧トイレ ⑨ゴミ処理 ⑩ルール・マナー ⑪その他</p> </div>			


「尾瀬当日の学習」に向けて、事前学習時にガイドとの打ち合わせを綿密に行っておきましょう！

○テーマに沿った調べ学習を進める。	6	○視覚的に分かりやすい発表準備を心掛ける。
○中間発表会へ向けて準備する。	7	
◎ガイドによる事前学習		
○尾瀬に関する詳しい説明を聞く。	8	○ガイドの説明を受け、疑問点等を確認させる。

★ガイドとの連携が大切です！

- ・尾瀬の実態（環境問題・環境対策）や体験談を話してもらおう。（事前に話してもらいたい内容をお願いしておこう。）
- ・雨天時の対応、当日の流れ（開校式の有無～閉校式）の確認をしておこう。（特に雨天での実行・延期の有無を決めておきましょう）
- ・学校からの要望などをしっかりと伝えておこう。

◇ガイドとの連携については「ガイドとの連携Q&A」（P.13～）を活用しよう。

情報収集の	2 「事前中間発表会をしよう」		
	○各班（個人）でテーマ等を発表する。	9	○聞く側から質問等をさせることで、テーマの絞り込みを行う。
	○他の班の意見を参考にして、さらに詳しく調べる。	10	○他の班の発表を聞き、受けたアドバイスを参考に、さらに調べ学習を進めさせる。
	3 「尾瀬へ行く準備をしよう」		
○尾瀬に入る際の基本的なマナーや当日の持ち物等を確認する。	11	○マナー・ルール等をきちんと確認させる。	
4 「尾瀬へ行こう」			
○尾瀬で自然体験をする。		○ガイドの指示に従って活動する。	
○各班のテーマ・課題解決に向けて、活動する。		○尾瀬の自然体験を事後学習につなげるために、ワークシートを用いる。記入する時間がとれない場合は、メモ程度とする。	
	<p>★ワークシート②【尾瀬について学ぼう】 （報告書P. 36～）を使用し、尾瀬について理解を深めよう</p> 		

「事後学習」では、尾瀬と環境問題のかかわりを基本に、身近な生活との結び付きも考えていきましょう！

★当日のガイドとの連携も大切です！

- ・事前に子どもたちのテーマ（課題）を知らせておこう。
（遅くとも当日には、しおりで知らせようしよう。）
- ・尾瀬の環境問題や環境保全についての話をしてもらおう。
（「事前学習」時にもお願いしておこう。）

○各班の課題解決に近付けるように、質問等をする。また、課題解決に近付けなくても尾瀬の自然を感じることに重点をおく。

◇ガイドとの連携については「ガイドとの連携Q&A」（P. 13～）を活用しよう。

◇雨天時の対応については、「雨天時対応Q&A」（P. 15～）を活用しよう。

【外部機関との連携・活用ポイント】
雨天で延期になった場合、「県立自然史博物館」・「ぐんま昆虫の森」・「尾瀬高校」（突然の場合は「尾瀬ぶらり館」）を活用することができます。（注意：事前に活用したい旨を連絡しておきましょう。）
P. 8～（報告書P. 17～）

5 「尾瀬の自然体験学習を振り返ろう」

- | | | | |
|-------|----------------------------|-----|-----------------------------|
| 整理・分析 | ○尾瀬学校でお世話になったガイドにお礼の手紙を書く。 | 1 3 | ○お礼の手紙の書き方（手本）に倣って、心を込めて書く。 |
| | ○尾瀬の環境問題や環境保護について考えをまとめる。 | 1 4 | ○尾瀬の学習のまとめとして、ワークシートを用いる。 |

★ワークシート③【尾瀬についてまとめよう】
（報告書P. 36～）を使用し、尾瀬の学習をまとめよう

- | | | |
|--|-----|--|
| ○「事前・当日の学習」を通して、気付いたことや問題点を出し合う。そして、もう一度調べたいテーマ（課題）を決める。 | 1 5 | ○気付きや問題点の中から、環境問題の視点でテーマを考えさせる。 |
| ○テーマ（課題）別にグループ分けをし、それぞれが尾瀬での体験学習をもとに、環境にかかわるテーマを設定する。 | 1 6 | ○自然保護や環境対策について提言ができるようなテーマを設定できるように助言する。 |

★「尾瀬当日の学習」を受けて、各学校がこれまで取り組んできた環境学習と関連付けたテーマを設定しよう！
* 「事前学習」でのテーマと変わってもOKです。

★尾瀬の環境問題や自然保護にかかわるテーマ（課題）設定の例として、以下のテーマを参考にしよう！

*子どもたちの具体的な取組内容に結び付いていくテーマを設定しましょう！

①尾瀬で取り組んでいる自然保護

⇒尾瀬でのゴミ問題を調べ、自分たちのこれまでのゴミ処理方法について見直し、リサイクル活動に取り組んでいこう

⇒尾瀬のトイレ浄化槽について調べ、自分たちのこれまでの水の使い方を見直し、節水に取り組んでいこう

②尾瀬の生き物から見た環境問題

⇒尾瀬の希少生物と、その保護対策を調べ、生き物にとって住みよい環境を作り出すために、自分たちにできる取組を考えよう

③尾瀬の植物から見た環境問題

⇒尾瀬の植物と外来植物との関連を調べ、植物にとって住みよい環境を作り出すために、自分たちにできる取組を考えよう

④尾瀬の成り立ちから見た環境問題

⇒尾瀬の成り立ちを調べることで、その貴重性を知り、尾瀬の自然を守るために、自分たちにできる活動を考えよう

⑤尾瀬の植生復元等から見た環境問題

⇒尾瀬の植生復元の現状から、自然と人間との関係を調べ、自分たちにできる環境に優しい取組を考えていこう

◇テーマ（課題）設定・解決に向け、子どもたちが取り組める学習活動やリサイクル活動については、報告書P.15・16を参考にしよう

○尾瀬と環境問題のかかわりについて考えながら、調べる。	17 18	○自分たちの身近な生活だけでなく、社会とのかかわりも意識させたい。
○テーマに沿った調べ学習を進める。	19	

【外部機関との連携・活用ポイント】

「自然史博物館」・「エコムーブ号」・「フォレストリースクール」
「企業（東京電力）」を活用することで、課題解決のためのヒントが得られるとともに、環境への身近な取組内容が分かり、環境教育へと結び付けていくことができます。 P. 8～（報告書P. 17～）



『尾瀬学校』のまとめとして、身近な生活場面で環境に優しい取組活動を決め、それを実際に行動に移していきましょう！

<p>ま と め ・</p>	<p>7「事後中間発表会をしよう」 ○グループごとに調べた内容等を発表し合い意見交換をする。 ○意見交換をもとに、再検討し、修正する。 ○情報を整理・取捨選択し、模造紙等にまとめる。</p>	<p>2 0 2 1 2 2 2 3</p>	<p>○身近な環境保全等のために、自分たちはどうあるべきか、追究を通して得た考えや伝えたいことを明確にしてまとめる。</p>
<p>表 現</p>	<p>8「自分たちの考えをまとめて発表しよう」 ～できることから始めよう！～ ○日々の生活の中で、環境保全のためにできることを発表し、交流し合う。</p>	<p>2 4 2 5</p>	<p>○班ごとに発表をする。 ○相互交流を図る。 ○実際に行動に移せる具体的な活動を発表する。</p>
<p>生 か す ・ 広 げ る</p>	<p>○尾瀬で学習した観点を生かして、これからの日々の生活につなげていきたい環境にかかわる取組を設定する。 (個人・学年・学校全体)</p>		<p>○今まで自校で取り組んできた環境にかかわる活動と結びつけて、取組内容を設定するようにする。</p>

尾瀬での自然体験学習をきっかけとして、子どもたちに環境問題や環境保全の意識が芽生えます。
 その意識をふだんの生活を見直したり、身近な活動に取り組んだりするといった行動に移していくことが大切です！



2 課題追究の活動例

【子どもたちが設定したテーマ（課題）との関連を図った取組】

○『尾瀬学校』の学習を「環境教育」に結び付けていく学習については、各学校が工夫を凝らして、様々な活動に取り組んでいます。以下に示す学習活動例は調査結果をもとに、環境学習に取り入れられる活動を構成したものです。子どもたちが設定したテーマ（課題）の解決及び、具体的な取組として、参考にしましょう。

★テーマ例：尾瀬のトイレ浄化槽対策を調べ、自分たちのこれまでの水の使い方を見直し、節水に取り組んでいこう

★学習活動例：「エコチェックシートを活用した節水・節電へ取り組む」

尾瀬の水の大切さから、日頃の水の使い方を見直し、節水への取組を呼びかけます。そして、‘尾瀬からはじまるエコ活動！エコチェックシート’（報告書P.47,48）を用いて、学校や家庭でCO₂削減に向けてのエコ活動へと取組を広げていきます。

①尾瀬のトイレ浄化槽の現状を調べ、水の大切さを知る。



②毎日の水の使い方の現状を調べ、見直しを考える。



③学校・家庭生活場面での、節水への呼びかけを行う。（節電への呼びかけも行う。）



*エコチェックシートを用いて、実践化を図る。



★テーマ例：尾瀬の植物と外来植物との関連を調べ、植物にとって住みよい環境を作り出すために、自分たちにできる取組を考えよう

★学習活動例：「グリーンカーテンの育成を通して、植物を大切にすることの気持ちを育てる」

尾瀬の希少植物を調べ、日頃から植物を大切にすることや植物が人間に与える影響などを知らせます。そして、‘グリーンカーテン’の育成を通して、環境保護への関心を高めていきます。

①尾瀬の希少植物について調べ、その大切さを知る。



②生活の中での、植物の存在について考える。



③植物が毎日の生活に及ぼす影響などを知らせ、大切さを呼びかける。



*グリーンカーテンの育成を通して、実践化を図る。



☆テーマ例：尾瀬でのゴミ問題を調べ、自分たちのこれまでのゴミ処理方法について見直し、リサイクル活動に取り組んでいこう

★リサイクル活動例：「不要紙回収から、牛乳パック・エコキャップ回収活動へつなげる」

尾瀬のゴミ問題やその対策を調べ、自分たちのゴミ処理について見直し、リサイクルへの取組を呼びかけます。そして、牛乳パックやエコキャップのリサイクル活動へとつなげていきます。

①尾瀬のゴミ問題について調べ、その対策を知る。



②毎日のゴミ処理の現状を調べ、見直しを考える。



③リサイクル活動への呼びかけを行う。



*クラス内に回収箱を設置して、すべての不要紙を回収する。(学校全体での取組)

*牛乳パックのリサイクル活動

①給食後、牛乳パックをのり付け箇所に沿って開く。(できるだけ平らに)



②クラスごとに水切り付きのトレーにひとまとめにする。(立てて回収)



③当番(日直等)が水ですすぎ、ベランダ等で乾かす。



④翌日、当番が回収場所に持っていく。(自治体や業者へ)



牛乳パックの貴重性や、リサイクルによってできる製品について、学習することが大切です。

*エコキャップのリサイクル活動

①委員会から全校生徒(地域・家庭)へ呼びかける。



②家庭から、エコキャップを持ってきて、所定の回収BOXに入れる。



③ある程度集まったら、関係団体等へ持参または郵送する。

【エコキャップ回収は、様々な団体が行っています。地域によって事情が異なるので、自治体に問い合わせるか、インターネットなどで回収先を調べてください。】



3 外部機関との連携・活用

○『尾瀬学校』の環境学習の充実を図るための手だてとして、社会教育施設や県の事業、企業との連携があります。以下に示すものは、連携できる施設・事業と、その活用例です。『尾瀬学校』実施以前の年度での活用や、実施年度での「事前・事後学習」に活用し、「尾瀬当日の学習」との効果的な学習を展開していきましょう。

- ① 群馬県立自然史博物館
- ② 群馬県立ぐんま昆虫の森
- ③ 移動尾瀬自然教室
- ④ 移動環境学習車エコムープ号
- ⑤ フォレストリースクール
- ⑥ 群馬県立尾瀬高等学校
- ⑦ 企業（東京電力）
- ⑧ 尾瀬ぷらり館

*本プログラムでは、
 ①「群馬県立自然史博物館」
 ②「群馬県立ぐんま昆虫の森」のみを掲載しています。
 *③～⑧については、「調査研究報告書」でご確認ください。

【連携・活用図】

県の施設・事業	学習時期	実施以前の年度 (実施前年等)	事前学習	当日の学習 (雨天時)	事後学習
①群馬県立自然史博物館		【尾瀬への興味関心】 【課題設定】		【課題解決・環境教育へ】	
②群馬県立ぐんま昆虫の森		【身近な自然への 興味関心】		【身近な自然への 興味関心】	
③移動尾瀬自然教室		【尾瀬への 興味関心】			
④移動環境学習車エコムープ号			【課題設定】 【環境教育】		【環境 教育へ】
⑤フォレストリースクール					【環境 教育へ】
⑥群馬県立尾瀬高等学校			【課題設定】	【環境教育へ】	
⑦企業（東京電力）		【尾瀬・環境への興味関心】			【環境 教育へ】
⑧尾瀬ぷらり館				【尾瀬への 興味関心】	

①『群馬県立自然史博物館』との連携

常設展示「群馬の自然と環境」では、緑豊かな群馬の自然を館内に再現しています。また、群馬の自然を標高別や地域に分けて、それぞれに特徴的な動植物を展示しています。そして、この展示内に、尾瀬についてのコーナーがあります。たくさんのジオラマや尾瀬シアターで、尾瀬の自然のすばらしさを発見できます。

◎実施前での活用について

- 『尾瀬学校』の実施前に、活用しましょう。
尾瀬はもちろん、自然への興味・関心が高まり、次年度以降の『尾瀬学校』の学習へとスムーズに入っていきます。



◎「事前学習」での活用について

- 尾瀬に行く前の疑似体験的な学習ができます。尾瀬への興味・関心を高めるとともに、課題設定のヒントを得ることができます。

- 展示物を見学するとき、ワークシートを活用することで、尾瀬についての学習を効率よく進めることができます。（ワークシートは、各学校で、事前にWebページよりダウンロードし、印刷して持参してください。）



- スポット解説について…
解説員から、尾瀬ヶ原の泥炭層や特徴的な植物、尾瀬保護活動などについての話を聞くことができます。（10分程度）

- 尾瀬シアターについて…
尾瀬の美しい自然を映像を通して紹介しています。尾瀬の1年間の変化が、マルチスクリーンに映し出されます。（約13分間）

◎「事後学習」での活用について

- 課題解決のための資料を得ることができます。さらに、身近に起こっている環境問題に関するコーナーがあり、自分たちにできる身近な取組について、学習することができます。

- 尾瀬に行っただけで『尾瀬学校』の学習が終わることのないように、環境問題や環境保全につながる学習を進めるきっかけとなるように活用していきましょう。



◎「出前授業」について

○「出前授業」も可能ですが、基本的に12月から3月の期間で実施しています。その他の期間での実施については、相談してください。



「事前学習」・「事後学習」・「出前授業」などで活用を図りたい場合、直接自然史博物館へ電話をして、打合せをしてください。その際、『尾瀬学校』で活用したい旨を必ず伝えてください。そうすることで、その学校に合った学習内容を決めることができ、効果的な連携・活用を図ることができます。

◎「雨天時」の活用について

○事前に電話で予約をしてください。（遅くとも1週間前までに）
その際、雨天時の学習内容等を相談しましょう。雨天だからといって、何も準備せずに来館すると、学習は深まりません。ワークシートで学習する場合は、印刷して持参できるように早めに用意しておきましょう。

○スポット解説は、雨天時のみの活用を考えてる場合は、利用できませんので注意してください。

○予約をキャンセルする場合は、早めに電話連絡しましょう。
当日の場合は、8時30分過ぎにその旨を電話連絡してください。



☆自然史博物館から…

自然史博物館には、尾瀬に関する様々な資料が準備してあります。尾瀬の展示を通して、なぜ、尾瀬が貴重なのか？ 尾瀬に行く時はどんな点に気をつけたらよいのか？ そして、尾瀬保護のために自分は何をしたらよいのか？ といったことを学んでいただけたらと思います。『尾瀬学校』の学習で活用してみたい学校は、まずは電話で相談してください。なお、尾瀬学習を進めるためのワークシート（小学生用・中学生用）をご活用ください。（当館Webページより、ダウンロードできます）

〈連絡先〉

- ・〒370-2345 富岡市上黒岩1674-1
- ・電話 0274-60-1200
- ・FAX 0274-60-1250



②『群馬県立ぐんま昆虫の森』との連携

ぐんま昆虫の森は、身近な自然に直接ふれることのできる「発見・体験型施設」です。自然体験、直接体験の少ない子どもたちの豊かな共通体験の場として、県内の小学校の約6割の利用があります。小学校低学年・中学年では、『尾瀬学校』へつながる前段階として昆虫の森を活用し、身近な自然にふれる「自然体験学習」を充実させましょう。

◎ぐんま昆虫の森とは =昆虫の森で、子どもたちと感動の共有を=

45haの里山には、雑木林、草地、田畑、小川や池などの多様な環境があり、本物のすみかで、生きた昆虫に触れたり、観察したりすることができます。さらに当園では、学校利用に向けた体験型の野外・館内プログラムを整え、事前の実地踏査・打合せを通して先生方と連携し、オーダーメイドの実施計画案の下、「自然体験活動」充実に向けたサポートを行っています。子どもたちは、初めて触れる昆虫に目を輝かせながら、自然との距離を縮めています。

○自然体験プログラム ※ミニ登山や、かやぶき民家見学、お弁当利用もできます。

* 野外ポイント解説（60分/要予約）3つの異なる環境で昆虫解説員がアドバイス

* 体験ウォークラリー（60分/要予約）野外で8つの自然体験に挑戦

* クイズラリー（60分/要予約）野外・館内の5つのクイズに挑戦

* 昆虫の森オリエンテーリング（120分/要予約）森の昆虫マーク集めに挑戦

○館内体験プログラム ※温室や図書館、昆虫学習トンネル、展示見学もできます。

* 昆虫館たんけん（60分/要予約）館内で8つの問題に挑戦 ※雨天時補完プログラム

* ミニクラフト（15分/要予約）「飛びチョウ」作りに挑戦

* 映像視聴（15分/要予約）昆虫の生態などの当園作成の楽しい映像の視聴

◎実施前での活用について

○小学校低学年・中学年では、『尾瀬学校』へつながる前段階として、昆虫の森を活用し、身近な自然により多く触れる「自然体験学習」を充実させましょう。尾瀬はもちろん、自然への興味・関心が高まり、次年度以降の『尾瀬学校』の学習へとスムーズに入っていきます。



◎「事前・事後学習」での活用について

○昆虫の森で、身近な自然に触れることで、『尾瀬学校』の学習と関連・対比させながら、尾瀬に行く目的や準備、自然保全の観点につなげていきましょう。



◎「雨天時」の活用について

○事前に電話で予約をしてください。（1ヶ月前までをお願いします。）
その際、雨天時の実施計画などを相談しましょう。
館内見学は「本館」「別館」など、先生方の引率での活用となりますので
昼食場所の確認と併せ、事前の下見をお勧めします。

○雨天時に「館内体験プログラム」を希望する場合は、事前の予約・下見が
必要です。「昆虫館たんけん」を実施する場合は、ワークシートを印刷し
持参してください。※「自然観察プログラム」は雨天時中止です。



○予約をキャンセルする場合は、当日の8時30分頃までに電話連絡してく
ださい。

◎連携・活用に当たってのお願い

○春から秋には多くの利用があります。雨天時と同様、1ヶ月前までに電話
で利用状況を確認の上、予約をしてください。先生方と連携し、有効活用
を図るために、下見をお勧めします。日程を相談してください。
○予約プログラムは、時間による定員制です。先着順にニーズに合わせて受
け付けています。お早めにご相談ください。



☆ぐんま昆虫の森から…

昆虫の森は、子どもたちの豊かな感性に働きかけるきっかけとなる環境や
利用内容を準備しています。小学校低・中学年での「昆虫の森」の学習は、
高学年・中学校での『尾瀬学校』に向けた先行体験として高い効果がありま
す。季節や天候を問わず利用できますので、何度でもご活用ください。

学校利用については、遠慮無く、問い合わせ・ご相談ください。

詳しくは「学校団体利用の手引き」をご覧ください。当園Webページよ
り、ダウンロードできます。

〈連絡先〉

- ・〒376-0132 桐生市新里町鶴ヶ谷460-1
- ・電 話 0277-74-6441
- ・F A X 0277-74-6466



4 ガイドとの連携Q&A

○『尾瀬学校』の「事前学習」の一環として、ガイドが各学校を訪問して尾瀬についての学習をする時間があります。児童生徒の学習はもちろん、教員にとってもガイドと打合せができる貴重な時間になります。ガイドは尾瀬散策も所要時間に詳しいので、この時に当日の行程や時間配分などの相談をすると、より効果的に『尾瀬学校』を実施することができます。上手に連携を図っていきましょう。また、「尾瀬当日の学習」でも上手に時間を生み出し、ガイドとの連携を図ることで、尾瀬での学習が有意義なものとなります。事前に学校（教員）とガイドとが十分に打合せをして“共通理解”を図っていくことで、『尾瀬学校』を実りあるものにしていきましょう。

Q1：「事前学習」の時に、ガイドさんが学校へ来て、尾瀬の話などをしてくれますが、事前に細かい打合せはできますか？



A：打合せはできますが、事前学習の前に学校に来てもらうことはできないので電話の他にFAXやメールを活用して要望などを伝えるようにしましょう。

Q2：尾瀬の学習を充実させるために、子どもたちへの話の内容については、どんなことをお願いするといいいですか？



A：尾瀬の学習を環境へと結び付けていきたいと考えている学校が多いと思います。尾瀬が今抱えている環境問題や、そのために取り組んでいる環境対策など、環境に関する話をしてもらえるといいですね。また、ガイドさんは尾瀬についてとても詳しく、ガイド経験も豊富なので、体験談やガイドさんからの要望（お願い）を伝えてもらうのもいいでしょう。写真や実物を示しながら話をしてもらえると、子どもたちの尾瀬や環境への関心も高まると思うのでお願いしてみましょう。

Q3：子どもたちへの話の後に、ガイドさんと教員との打合せはできますか？できるのであれば、教員間でどんなことを話し合っておくといいいですか？



A：できます。事前に、教員間で確認しておきたいことやお願いなどを話し合っておきましょう。特に、学校側の考え（尾瀬での学習に期待していること・これまでに学習してきた内容等）を伝えられるようにしておきましょう。この打合せの時間で、共通理解を図りましょう。

Q 4 : 共通理解を図る上で、ガイドさんとの打合せの時に、どんなことを確認しておくといいですか？



A : まずは、当日の流れです。基本的に鳩待峠に到着すると、すぐに班活動が始まります。混雑のため開校式は行われなことが多いので、行きのバスの中で、注意点等は確認しておきましょう。また、閉校式は行われることが多いので、その場所や並び方、次第をしっかりと決めておきましょう。

子どもたちが課題を設定している場合は、その内容を伝えておくと、当日ポイントを絞った班の活動が行えると思います。特に、事後学習のことを考えて、環境についての話をしてもらったり、子どもたちから質問したりすることをお勧めします。

当然のことですが、配慮を要する子どもの確認も忘れずにおきましょう。当日、雨天の場合や雨天が予想される場合の対応についても、必ず確認しておきましょう。

(雨天時の対応については、‘雨天時の対応Q & A’ P. 15～)

Q 5 : 事前での打ち合わせが終わると、当日までガイドさんと打ち合わせはできないのですか？



A : 再度、場所を設定しての打合せはできないと思います。変更点や疑問点、新たなお願いなどが出てきた場合は、ガイドさんに直接電話連絡をして、話し合ってください。尾瀬当日まで(尾瀬当日もそうですが)ガイドさんが頼りになりますので、連携をしっかりと取っていくことが大切になってきます。

Q 6 : 当日のガイドさんとは、打合せや話をするができますか？



A : 基本的に、各ガイドさんと細かい話はできないと思います。しかし、当日は最短でも戸倉から鳩待峠までガイドさんがバスに同乗します。その時に、ガイドさんから直前学習(*)として、尾瀬での活動に際しての注意点などが話されます。お願いや確認しておきたいことがあれば、その後に話しておきましょう。(配慮児童・生徒の確認、子どもたちの課題など)

また、しおりがあれば、ガイドさんに渡しましょう。班の子どもたちの名前や課題を知らせることができます。

(*) ここでの直前学習は、当日の行きのバス内で、ガイドが実施する学習です。

5 雨天時の対応Q&A

○『尾瀬学校』の学習の中心は、「尾瀬当日の学習」です。この当日が、必ず晴天とは限らず、雨天の場合もあります。また、尾瀬に到着して、班活動が始まってから雨が降り出すということも考えられます。当日になって慌てないためにも、雨天時の対応は十分に考えておく必要があります。この場合も、ガイドとの連携が大切になってきます。

Q1：尾瀬に行く当日が、天気予報などで雨になりような場合、どのような対応を考えておけばいいのですか？



A：基本的には、台風や豪雨などの荒天以外は、実施するという考えをもってください。ただし、荒天時の対応については、事前学習時のガイドさんとの打合せで、次のページの流れに沿って決めておきましょう。

Q2：尾瀬に到着してから急に雨が降ってきて、班の活動が実施できなくなった場合は、どうすればいいですか？



A：急に雨が降ってきて、午前中で班の活動を切り上げなければならなくなった場合などは、次の施設を活用してみましよう。

戸倉第一駐車場の近くに「尾瀬ぷらり館」という施設があり、尾瀬についての展示物などを活用できます。また「尾瀬高校」も活用できます。（要予約）詳細は「外部機関との連携・活用」（報告書P. 17～）をご覧ください。

Q3：出発地（学校）が晴れていても、尾瀬は雨という場合もあると思います。この確認はどのようにすればいいですか？



A：天気予報で、尾瀬戸倉地区の天気を常にチェックしておくことが必要です。尾瀬保護財団のWebページ上の「今朝の山の鼻」で、最新の天気予報などをお知らせしています。前日・当日（朝7:00更新）に確認しましょう。（携帯電話からでも見られます。）また、当日の朝に、ガイドさんと連絡を取り合い天候を確認しましょう。山の天気は変わりやすいので、急な雨の対応はしっかりと考えておくことが大切です。

◎荒天（台風・豪雨）時対応の流れ

○まずは…

荒天順延になった場合、日程やガイドとの調整が難しくなるため、多少の雨ならば、実施しましょう。

* 事前のガイドとの打合せ時に、次のどの案で対応するかを決めておきましょう。

- ・ A案：荒天延期として、学校で学習する
- ・ B案：荒天延期として、別の場所（尾瀬以外）で学習する
- ・ C案：中止する（学校で学習する、もしくは別の場所で学習する）

* A・B案：延期して、他の施設での学習となった場合、他の施設に行くバス代補助は出ませんので注意しましょう。

* C案：中止した場合、バスキャンセル料、または他の施設に行く経費は補助対象となります。

○事前の対応

できるだけ、早めに予約をしておきましょう！

事前

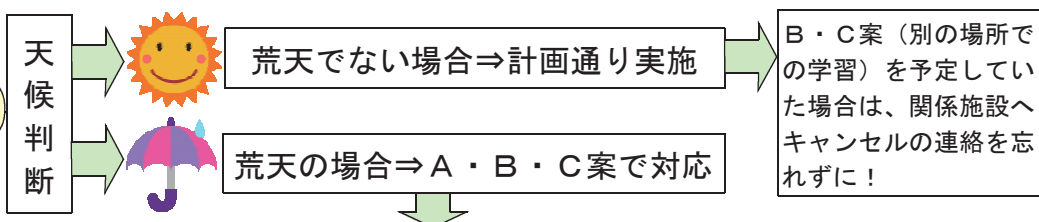
- ・ A案：特に事前での対応はありません。
- ・ B案：事前に雨天時でも連携・活用が可能な施設と連絡を取り合い、予約をしておきましょう。
【連携可能な施設：自然史博物館、ぐんま昆虫の森、尾瀬高校】
- ・ C案：別の場所で学習する場合、予約をしておきましょう。
《注意》いずれの場合も、市町村教育委員会へ連絡をしておきましょう。

各施設の詳細は、「外部機関との連携・活用」（報告書P.17～）の頁をご覧ください。

○当日の対応

ガイドと連絡を取り合い、決定しましょう。

当日



- ・ A案：担当ガイド・市町村教育委員会・群馬県尾瀬保全推進室に連絡 → 日程調整 → 後日実施 [学校内で学習]
 - ・ B案：担当ガイド・関係施設・市町村教育委員会・群馬県尾瀬保全推進室に連絡 → 関係施設へ移動・学習
 - ・ C案：担当ガイド・市町村教育委員会・群馬県尾瀬保全推進室に連絡
- ★注意【B案での対応（他の施設で学習）となった場合、バス代補助は1回だけなので、再度尾瀬に行くための補助は出ません。】

6 尾瀬学校実施に係る注意事項

(1) 尾瀬学校トランシーバーの活用について

- ① 群馬県教育委員会では、安全確保のためにトランシーバーを12台購入し、教職員、チーフガイド、山の鼻ビジターセンターとの間で連絡ができるようにしました。

貸出し数：1校当たり学級数分（原則1学級の場合は2台）

※正式な貸与数については、割振り表を作成し、当該年度の4月末までに市町村教育委員会を通じて、参加校に連絡します。

- ② このトランシーバーは共通に同じチャンネルで使用するシステムをとっているため、一斉にすべての学校とチーフガイド、山の鼻ビジターセンターに連絡できます。緊急事態が起きてしまったときには、近くにいる学校やガイドに助けを求めることもできます。
- ③ 尾瀬の自然を満喫するには、トランシーバーで関係のない会話が頻繁に聞こえてくることは好ましいことではありません。

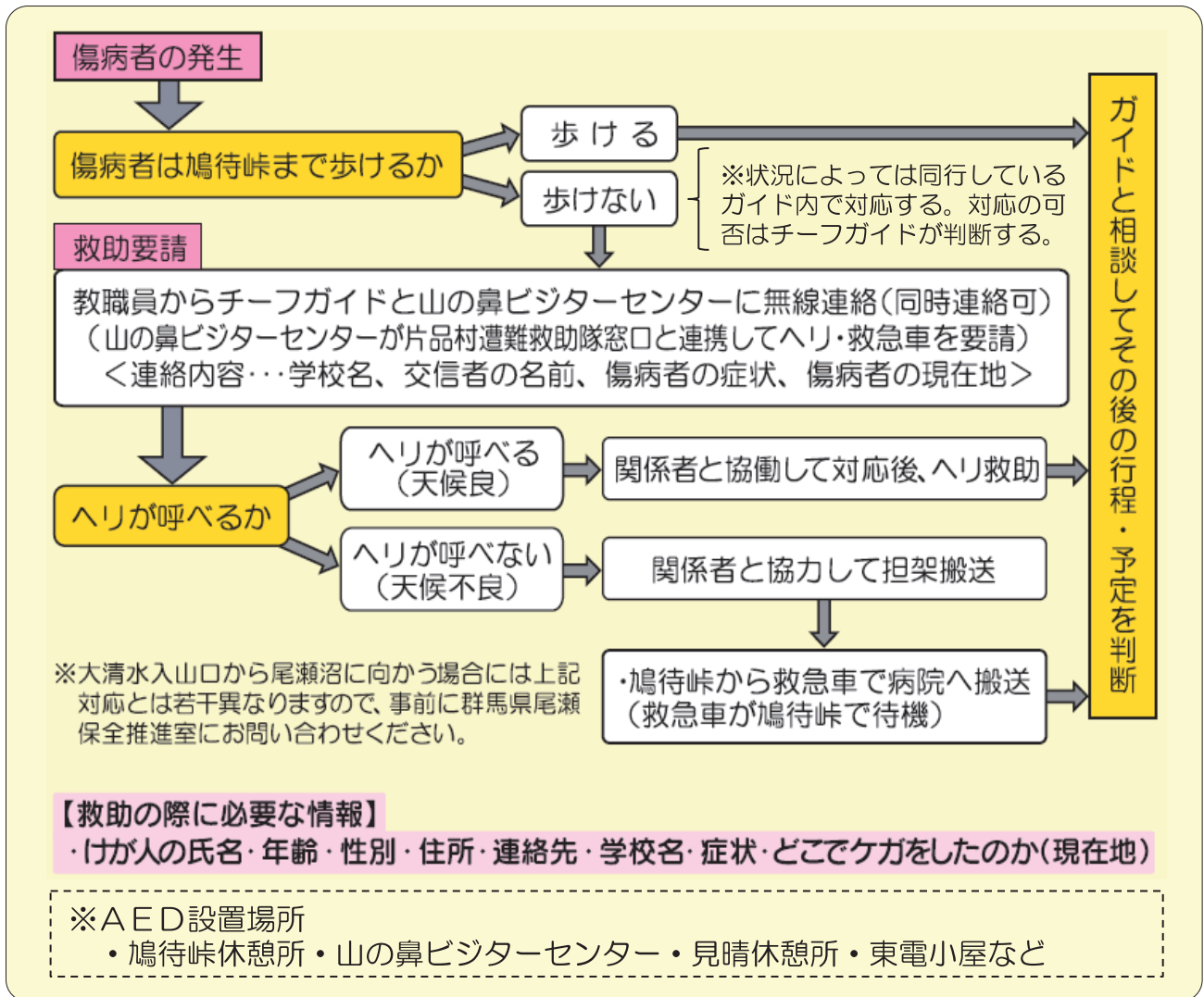
原則として次のような緊急時の連絡を想定していますので、各学校で適切に使用していただくようお願いします。

- 1 事故が起こってけが人が出た。病人が発生した。行方不明になった。
- 2 予定を変更する。

◎トランシーバーを扱う際の留意事項

- ① 鳩待峠到着後、「鳩待山荘」にて借用手続きを取り、終了後、「鳩待山荘」にて必ず返却手続きをしてください。
- ② トランシーバーは、教職員が所持してください。
（1台は、緊急時とっさの判断ができる責任者が持つようにしてください。）
- ③ トランシーバーは電源を入れなければ使えません。（受信もできません。）
（借り受けたらすぐ電源を入れ、返却するときに電源を切ってください。）
- ④ 落下、紛失等に十分気を付けてください。
（ネジ式のアンテナがしっかりしまっているか確認してから使用してください。）
- ⑤ チャンネルは「7」に合わせてください。
（チャンネルがずれると通話できませんので注意してください。）
- ⑥ 送信の際には、トランシーバー側面の送信ボタンを押しながら話してください
（押し続けている間、送信となります。）送信ボタンを離すと受信状態となります。
※トランシーバーの貸与を受けたら一度交信の確認をしてください。
- ⑦ 交信の際には、「〇〇学校の□□です。〇〇学校の△△先生、どうぞ」というように、交信者と交信相手を明確にしてください。
- ⑧ トランシーバーが故障した場合には、トランシーバーを管理している「鳩待山荘」の係員に申し出てください。

(2) 緊急時の連絡について



(3) トイレチップについて

○尾瀬学習プログラムには、トイレ代は100円程度とありますが、小・中学生のお小遣いの程度を考えると「1回当たりの金額は100円でなくてもよいのではないか」という話し合いが、県・教育委員会・ガイドの間でもたれました。

「子どもたちに環境保全への意識をもたせるためにトイレ代はその都度入れるが、金額はいくらでもよい」という共通理解をお願いします。

※学校で1回あたりの金額具体的に決めた場合には、ガイドへ伝えてください。

(4) 子どもたちへの配布資料について

○尾瀬学校を実施する学校には、群馬県尾瀬保全推進室より市町村教育委員会を通じて子どもたちへの資料が事前に配布されます。

ガイドによる事前学習の前に、子どもたちが目を通しておくようにしましょう。

- ・『尾瀬ミニブック』(A5版)
- ・『尾瀬を守るしくみ』(リーフレット)
- ・『尾瀬学校フィールドマップ』(リーフレット)

尾瀬学習プログラム ー学習活動編ー

平成22年3月 発行

平成26年3月 一部改訂・増刷

資料提供・協力 群馬県総合教育センター

(問い合わせ先：カリキュラムセンター
TEL 0270-26-9208)

出典 『尾瀬学校』を生かした環境教育の推進を図るための調査研究
— 「事前・事後学習」に視点を当てた学習計画の作成を通して —
長期研修員 浅川 誠一

発行者 群馬県環境森林部自然環境課尾瀬保全推進室

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

TEL 027-226-2881

FAX 027-220-4421

群馬県教育委員会義務教育課

TEL 027-226-4616

FAX 027-243-7759